

固体燃料発熱量測定用 マイクロコンピュータ制御デュアル酸素爆弾熱量計

商品番号: KT-TE7



前書き

高精度な発熱量測定のために設計されたこのマイクロコンピュータ制御デュアル酸素爆弾熱量計は、独立した2つの容器による非同期テスト、自動給排水、超高感度熱分解能、および厳格な規制準拠を特徴としており、発電、冶金、石油化学研究所における固体燃料の品質管理を効率化します。

[詳細を学ぶ](#)

用途	説明	主なメリット
石炭火力発電	入荷した微粉炭、混合ボイラー燃料、ボトムアッシュの高頻度発熱量プロファイリング	燃焼化学量論の最適化、規制上の熱コンプライアンス確保、ボイラーの汚れ防止
炭鉱および鉱物処理	原炭、洗浄済み精炭、テールズ、選炭廃石の評価	商用製品グレードの正確な決定、洗浄プラントの歩留まり最適化、契約仕様の検証
冶金用コークス製造	コークス用石炭、半コークス混合物、冶金用鋳物コークス製品のエンタルピー試験	高炉の熱プロファイルの安定化、炭素質原料の反応性検証
石油化学残渣分析	石油コークス、精製ピッチ、重質蒸留残渣、カーボンブラックの総熱量測定	産業用廃熱回収および商用燃料販売に必要な正確な熱バランスデータの提供
商用品質検査	独立した第三者検証、カストディ・トランスファー決済、固体燃料の輸出認証	法定エネルギー基準に準拠した、再現可能で監査に耐えうる分析文書の確保
環境廃棄物発電	都市固形廃棄物（MSW）ペレット、固形燃料（RDF）、バイオマスブリケットの発熱量スクリーニング	炉への供給速度の確立、エネルギー回収効率の予測、焼却炉の低温排出防止
セメントクリンカー製造	代替燃料、廃タイヤ、炭素質キルン燃料の継続的なエネルギー特性評価	焼成帯温度の安定維持と、主要化石燃料の調達コスト削減

仕様パラメータ	技術指標 (KT-TE7)
製品番号	KT-TE7
デュアル制御動作モード	非同期デュアル容器マイクロコンピュータ制御（各バレル独立動作）
熱容量 (熱量計相当)	約 10500 J/K
温度分解能	0.0001 K
1回あたりの試験時間	約 15分
外側ジャケット容量	30 L
内部容器容量	約 2.3 L
定量給水誤差	≤ ±0.1 g
点火電圧	24 V

仕様パラメータ	技術指標 (KT-TE7)
点火タイミングプログラム	6分間のタイミング点火サイクル
温度測定範囲	0°C ~ 65°C
周囲動作温度範囲	5°C ~ 40°C
発熱量測定精度	0.1% (標準安息香酸評価)
規格準拠	GB/T213-2008要件に完全準拠
入力電源	AC 220V ± 10%, 50 Hz
消費電力	< 300 W
分析補正	統合リアルタイム冷却補正システム
データ管理システム	自動熱容量校正、変換、スプレッドシート保存、印刷出力